

令和2年度第2回指定管理者審査委員会 議事録（要旨）

日 時 令和2年10月9日（金） 午前9時から午後12時10分まで
 場 所 市役所本庁舎4階第2会議室
 出席委員 亀倉正彦、関千里、平家勉、上田信子、伊藤三郎（敬称略）
 欠席委員 なし
 事務局 石川達也（総合政策部長）、和田徹（同部調整監）、杉田武史（同部次長兼企画政策課長）、安彦直美（同課課長補佐）、山浦勝義（同課企画経営係長）、中根友樹（同課企画経営係主事）

説明の為に出席した者 市川秋広（学習教育部長）、鬼頭聡（生涯学習課長）

傍 聴 不可（日進市情報公開条例第7条第6号に該当する事項を審議するため。）

議 題 (1) 日進市民会館、日進市ふれあい工房の指定管理者の候補者の審査（第2次審査）について

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
事務局	それでは、進行を委員長にお願いします。
委員長	本日の会議は、指定管理者の候補者の審査等を議題としていますが、これは、日進市情報公開条例第7条第6号にある、公開することで事業の公正な執行を妨げるおそれのある情報に該当します。 会議を公開することで公正な審査に支障が生じるおそれがあることから、非公開としたいと思います。 日進市市民参加及び市民自治活動条例施行規則第16条の規定に基づき、非公開の可否についてお諮りします。ご異議ないでしょうか。
委員	（異議なし）
委員長	異議なしの声をいただきましたので、委員の皆様の総意によりまして本日の会議は非公開とします。
	3 議題 (1) 日進市民会館、日進市ふれあい工房の指定管理者の候補者の審査（第2次審査）について
申請者①	（事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答）
	（主な質疑応答） 質問：収入に関して、新型コロナウイルスの影響は推測できないため、それは考慮せずに、自主事業や利用料収入を算定しているということで良いか。 回答：説明会等で質問をしたところ、影響がどのくらいあるかわからないため、無い状態として計画をするようにと回答があった。よって、新型コロナウイルスの影響がないものとして、計画を立てている。 質問：ふれあい工房はこれまでも比較的高い稼働率であったが、そこに対する新

発 言 者	内 容
	<p>たな取組は何かあるか。</p> <p>回答：稼働率は高いが、利用者数が減ってきているということを懸念している。新規利用者の獲得を行う必要がある。実際に管理運営してみないとわからない部分はあるが、個人からグループへ利用の紹介ができるようにする、体験で裾野を広げる等、個人利用を広げていくようなことをやってみたいと計画している。</p> <p>質問：収支予算書の委託料については、舞台に関する人件費や委託料について共同体とすることで、内製化したということか。</p> <p>回答：舞台にかかる費用は、人件費として計上し、委託料のうち清掃にかかる部分等を内製化することで、費用を抑えている。</p> <p>質問：人員配置計画にある人員については、両方に配置されるポストと兼務となるような人がいるのか。</p> <p>回答：人員配置計画で示しているのはポスト数であり、実際に配置される人数とは異なっている。トータルで雇い入れる計画人数があり、ふれあい工房に人手が足りない時等は市民会館側からフォローに入るような体制としている。なお、ふれあい工房には陶芸家の方を配置できるようにアプローチしているが、現在勤務している方がそのまま続けたいということであれば、それを優先したいと考えている。</p> <p>質問：施設の運営マニュアルについては、新たに作成するのか、現在作成されているものを使用するのか。</p> <p>回答：会社として通常の管理運営マニュアルは持っているが、引継ぎ期間にその施設のマニュアルに関しても引継ぎを受けて、不足や改善する部分があれば、改善をしていく。</p> <p>質問：問題があった場合に QC サークルを用いて改善していくとのことであるが、全社員がその勉強をしていて、改善に用いてやっていくという手法をとるのか。</p> <p>回答：全社員、全職場において QC サークルを実施しており、本施設においても実施していく意向である。人数的に 2 グループ程度を考えている。これに関しては大きな改善テーマを持って 1 年間かけてやっていくものである。これとは別に、個人レベルで、「問題がある」、「ちょっとやりにくい」というような部分について改善提案するものもある。</p> <p>質問：いくつか類似している施設管理を受託しているが、受託したことにより稼働率、利用者アンケートの票数等、大きく改善してきたポイントについて説明をお願いしたい。</p> <p>回答：他自治体での受託事例を紹介する。平成 30 年度から受託しており、それ以前は市の団体が管理運営していた施設では、スポーツ等でも使用でき、人気が高かった。施設利用に際して、応募が多いため毎月抽選会を実施していた。朝から実施し、3 時間程度かかっていた。利用者もずっとその場にいる必要があり、不満の声があった。QC サークル活動等も含め改善に取り組み、予約や</p>

発 言 者	内 容
	<p>抽選の手法を変えることで、拘束時間を 1 時間短縮した。なおかつ、その場にずっといなくてもいいようにした。市民からも、市からも評価された。別の事例では、直営時と比べ、利用率が 5%から 10%程度向上した施設がある。利用者の声が多かった、トイレの洋式化については、順次入れ替えを実施し、現在ではほぼ洋式化されている。このように利用者の声を反映させて管理している。</p> <p>質問：利用率や稼働率の目標とすべき数値は記載されているが、この指標は十分に達成ができるという認識でよいか。</p> <p>回答：事業計画を記載するに至るまでには、細かい作業を積み上げているので、達成できると考えている。</p> <p>質問：達成できなかった場合の改善についてはどのように考えているか。</p> <p>回答：目標は次年度に立てるが、大事にしているのは KPI である。達成度合いを毎月見ていく中で、一定の時期に達成度合いが低い場合は、何らかの改善を図って進捗管理をしていく。</p> <p>質問：色んな事業等を積み上げて利用人数や稼働率を出したものか。</p> <p>回答：利用人数から稼働率を出したのではなく、目標とする稼働率を達成するために、まず現在の各時間帯の稼働率を調査し、稼働率を上げられそうな時間帯に事業を実施することで、その時間帯の稼働率を上げるとともに、新たな利用方法を提案することで、活動をしていきたいという市民が増え全体の稼働率も上がってくるのではと考えている。実施する事業の参加率等も踏まえて、目標の数字は達成できると考えている。</p> <p>質問：市民への広報はどのように実施するのか。</p> <p>回答：ホームページをリニューアルして情報をわかりやすくする。インターネットを見られない方もいるため、広報紙での周知も考えているが、他の指定管理施設の講座情報等も集約して作成した方が、利用者にはわかりやすくなるかと考えている。</p> <p>質問：市民会館とふれあい工房を同時に管理することについて、人件費以外で効果があるものについて聞きたい。</p> <p>回答：2つの点がある。維持管理の面では、設備のスタッフを常駐させるため、小規模施設であるふれあい工房は、そのスタッフの日常点検で維持管理がまかなえるため、外注する必要がなくなる。清掃スタッフについても同様。事業の部分では、市と協議は必要ではあるが、ふれあい工房は「もの作り」という観点では、もう少し違う使い方があるのではと考えている。その場合は、生涯学習を含めて企画をした方が、部分最適ではなく全体最適ができるのではと考えている。</p> <p>質問：市民会館は予約システムを利用しているが、今後はどのようにしていこうと考えているか。</p> <p>回答：公募資料で、そのシステムを使うことを前提に運営するとなっていたため、その対応はしていくが、使い勝手が悪いとも聞いている。簡易的なシステム</p>

発 言 者	内 容
	<p>を作ることでもできるため、市と協議していきたい。</p> <p>質問：ホールの利用方針について聞きたい。</p> <p>回答：大ホールについては、受託事業等で高い利用料を得ているため、小ホールで身近に近い距離で体験できる音楽鑑賞会等を企画しようと考えている。</p> <p>質問：3密を回避しようとする人数制限等も考えられるがどうか。</p> <p>回答：定員を半分にする等、状況に応じて実施していく。また、ホールの利用の仕方として市民会館に大きな楽器があるため、ホールで事業をやるのではなく、ホールで楽器を演奏することを体験してもらう企画等も考えていきたい。</p> <p>質問：舞台関係で常駐人件費が 2,100 万円ぐらいとなっているが、それでやっているか。</p> <p>回答：提案している人件費でやっていく予定である。場合によっては、パート職員が必要になる可能性もあるその場合は、臨時で応援という形で増員することも考えられる。</p> <p>質問：日進市の子ども学び等に関して提案するにあたって理念的なものはあるか。</p> <p>回答：企業として、物作りにはこだわりがあり、日進市においても、市内の企業の物作りを紹介して将来は、物作りに携わりたいと思う子どもが一人でも増えたらよいという考えで運営をしていきたい。音楽に関することとしては、身近に音楽を体験してもらえようなことを低価格で実施していきたい。また、伝統的な「棒の手」等についても大事にし、講座を考えることで郷土愛が生まれ、将来、日進市に住みたい、住み続けたいと考える子どもが増えればよいと思う。</p> <p>質問：日進の土を利用して陶器を作成し、こんなものができたと市民が自負できるような取組は可能か。</p> <p>回答：この辺りだと陶器と言えば「セトモノ」が有名であるが、昔、この地域一帯は猿投窯があり、跡地が多数ある。それを子どもに教えることで、郷土愛にもつながっていくため、良質な土が採れば実施していきたい。</p> <p>質問：地域人材の優先的採用についてその基準はあるか。また、QC サークルとの整合性はどのように確保するか。</p> <p>回答：人員の配置については、ポストは用意してあるため、まず現在働いている職員に対して面談をし、お互いの条件が合わない場合は継続して勤務するのは難しい。また、勤務するにあたって、こちらの考えを共有してもらえかどうかだと思う。長年勤めている人は、今までのやり方に固執してしまうが、少し考え方を変えると、それが大きく変わる可能性がある。QC サークルについても学んでもらい、新しい人だからやらないのではなく、新しい人だからこそ、QC サークルに取り組んでもらう。</p>

発 言 者	内 容
日進アシスト株式会社	(事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答)
	<p>(主な質疑応答)</p> <p>質問：施設の有効活用について、市民会館の貸出時間区分を新設とあるが、実際に市と協議をし、可能かどうか確認をとっているものか。</p> <p>回答：当社で検討中の段階であるので、まだ協議はしていない。条例、規則等の改正が必要になるようであれば、市と協議をして進めていきたいと考えている。</p> <p>質問：収支予算書の中で受託事業収入がこれまでの実績よりも少なくなっているのは、新型コロナウイルスの影響を勘案しているのか。</p> <p>回答：影響については、考慮していない。これまでは、収入を見込める受託事業があったが、今後は受託事業の中に収入が得られない事業、公演等が追加されているため、それを加味して収入を算出したものである。</p> <p>質問：事業数はあまり変わっていないが、受講料を取らない新規事業が入ってきたからということか。</p> <p>回答：現時点では進めていない事業ではあるが、音楽のまち構想に基づく事業等については、収益を見込むことができないと考えている。</p> <p>質問：委託費の内訳はどのようなものか。</p> <p>回答：清掃、保守点検、舞台関係のものとなっている。</p> <p>質問：人件費の算出と職員配置についての人数の違いについて内容はどのようなか。</p> <p>回答：職員の配置については、確保する人数としており勤務ローテーションで人数調整をすることとしているため、その差が生じている。</p> <p>質問：事業計画書中にある、名古屋東労働基準局からの是正勧告はどのようなものか。</p> <p>回答：労働基準局から産業医について専任がないのではないかと指摘をされたもの。すでに産業医を手配し、勧告は是正されている。内容としては、産業医の配置人員基準に対する解釈が誤っていたもの。</p> <p>質問：ふれあい工房については、陶芸の知識がある人を配置するとあるが、今後も同様か。</p> <p>回答：現在でも、陶芸について知識のある職員を配置しているが、配置する職員を交代する場合は、引継ぎを行い、陶芸に関する知識をつけてから配置する。</p> <p>質問：子どもだけでやるコンサート事業という提案があったが、これを提案するに至った経緯、今後の進め方など考え方があれば教えてほしい。</p> <p>回答：日進市は全国の吹奏楽コンクールで輝かしいコンクールを残しているが、成長するにつれて、吹奏楽からは離れ、個人的に楽器演奏を続けている人などが発表できる機会を設けたいというのがきっかけ。</p>

発 言 者	内 容
	<p>質問：委託料のうち、舞台関係費用がどのくらいかを教えてほしい。</p> <p>回答：安全管理、吊物点検、照明点検等、一式を包括して委託しており 2,000万円程度となっている。</p> <p>質問：スポーツ関連の施設管理で実績が多数あるが、そこから文化的な施設を管理する上で、相乗効果になるようなことがあれば教えてほしい。</p> <p>回答：総合運動公園でのウォーキングイベントの景品として、ふれあい工房の体験チケットを配布した。また、プールのチケットを市民会館や生涯学習プラザでも購入できるようにしている。</p> <p>質問：ふれあい工房について、利用者が減っている現状がある中、現状を維持しつつ取組を強化していくのか、何か変化させていくのか、考えがあれば教えてほしい。</p> <p>回答：釉薬の入れ替え、七宝焼き、作品発表の場の提供等の事業を実施することで、下降傾向であった利用人数が増えつつあったところに新型コロナウイルスによる施設の利用制限があったため、前年度を上回ることができなかったが、引き続き事業に取り組みたい。その他に、夏休みに団体単位で実施していた陶芸教室を、個人単位で実施できるように変更し、利用者は増えてきている。今後は、市民会館との連携により作品展示等の機会を設け、施設の活性化につなげていきたいと考えている。</p> <p>質問：基本的な考え方としてSDGsを記載しているが、具体的な活動としてどのように関連しているか、生涯学習がそれにあたるということなのか、SDGsと関連した企画があるということか。</p> <p>回答：近江商人の考え方で「三方よし」という考え方があり、売り手よし、買い手よし、地域よしという考え方が、SDGsやESDの考え方だと思っている。利用者（お客様）、アシスト（提供者）、日進市（地域）の三方が良くなるようにという思いで、SDGsの考え方を取り入れて、持続可能な活動を続けていきたいと考えている。</p> <p>質問：地域雇用について、市内在住者が多いのは応募をかけるときに地域限定にしているためか。</p> <p>回答：職場が市内に点在しており、市内在住者であれば災害等があった場合でも職場にたどり着きやすく、また、会社の設立目的として地域に密着している部分があるため、地域雇用については重要視している。市外在住者を採用しないということではないが、出来る限り勤務地から近くの人を採用し市民に活躍をしてもらいたいという思いである。</p> <p>審査の後、答申を実施した。 (閉会 午後12時10分)</p>